

② 各訓練施設の概況

区分	施設数	敷地面積(㎡) ※	建物数 ※	主な建物
職業能力開発促進センター	62	23,526.12	8	本館、 実習棟等
職業能力開発大学校等	11	53,227.98	12	本館、 実習棟等
職業能力開発総合大学校	1	284,588.56	36	本館、 実習棟等
地域職業訓練センター等	102	2,623.26	1	本館
合計	176			



旭川職業能力開発促進センター



中国職業能力開発大学校



八戸地域職業訓練センター

※ 敷地面積及び建物数については、標準的な施設をモデルとしていること（総合大を除く）

③ 企業の生産現場を反映した設備の整備(離職者訓練)

◆ テクニカルオペレーション科の例

主な設備機器の整備に **約2億2,500万円**

仕上がり像(訓練目標)

1. 機械製図に関するJIS規格を知っており、CADによる機械図面・3次元形状の作成及びシステム運用管理ができる。
2. 汎用工作機械加工、NC工作機械加工(ターニングセンタ、マシニングセンタ)、CAD/CAMシステムによる機械加工ができる。

事業主の声

- ・ 機械加工やものづくり関連のコース設定は設備投資にける資本の問題があり、開設は難しい。
- ・ ものづくり分野は、民間で実施するのは採算面から見て困難である。

	設 備 の 細 目			合計 (千円)
	主な設置機器等	数 量		
	名 称	基準値	30名で実施 する場合	
CAD基本作業 NC旋盤作業 マシニングセンタ作業 等	CAD/CAMシステム	1式/人	30 式	30,000
	ターニングセンタ(NC旋盤)	1台/システム	1 台	20,000
	マシニングセンタ	1台/システム	1 台	25,000
	普通旋盤、フライス盤 等			150,717
				225,717

- いずれも金属製品製造業、一般・電気機械器具製造業等の生産現場に広く普及している機械。
- 企業のニーズに応えられる高度な技能者育成のためには、これらの機器が必要不可欠。



ターニングセンタ (2,000万円)



ターニングセンタによる加工例



マシニングセンタ (2,500万円)[リース]



マシニングセンタによる加工例

- 訓練においては、外径加工、曲面加工、ドリル加工などの切削加工法を習得するために使用。

- 2次元又は3次元の平面削り、穴あけなどの切削加工法を習得するために使用。

◆ 金属加工科の例 主な設備機器の整備に **約2億850万円**

仕上がり像(訓練目標)

1. 鉄鋼材の加工及び被覆アーク溶接作業、TIG溶接作業ができる。
2. 機械板金加工作業(油圧プレス等)、炭酸ガス半自動溶接作業及び板金CAD作業ができる。

	設備の細目			合計 (千円)
	主な設置機器等 名称	数量		
		基準値	30名で実施 する場合	
工作基本作業 機械板金・プレス作業 炭酸ガスアーク溶接作業 等	動力シャー	1台/システム	1台	12,312
	油圧プレス	1台/システム	1台	10,133
	炭酸ガスアーク溶接機	0.5台/人	15台	11,655
	TIG溶接機、万能試験機 等			174,387
				208,487

- 金属製品製造業、一般・電気機械器具製造業等の生産現場で機械板金関連の作業に用いられている。
- 企業のニーズに応えられる高度な技能者育成のために、必要不可欠な機械。



油圧プレス (1,010万円)



油圧プレス加工例

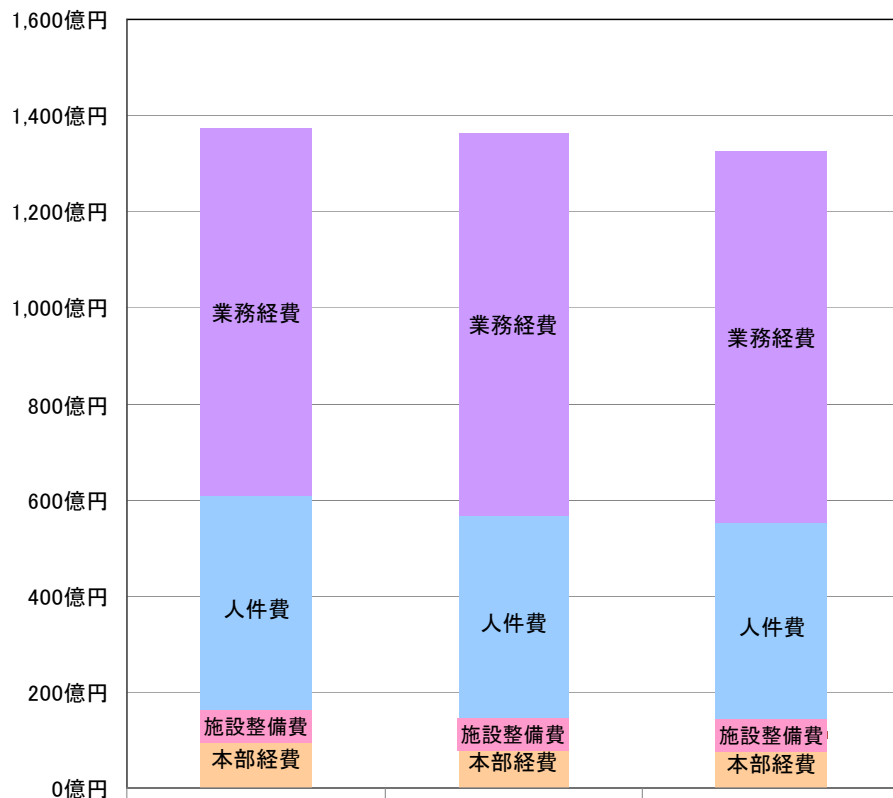
- 90° 曲げ、R曲げ、段差曲げなどの薄板の曲げ加工法を習得するために使用。

4. 訓練コストと財務状況

① 訓練コスト

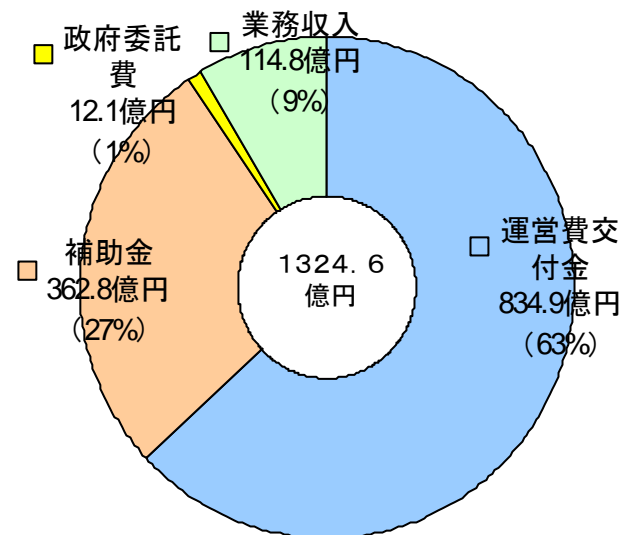
独立行政法人雇用・能力開発機構・能力開発機構一般勘定(職業能力開発・雇用開発)支出額の内訳(平成16~18年度実績)

一般勘定支出額の年度別推移

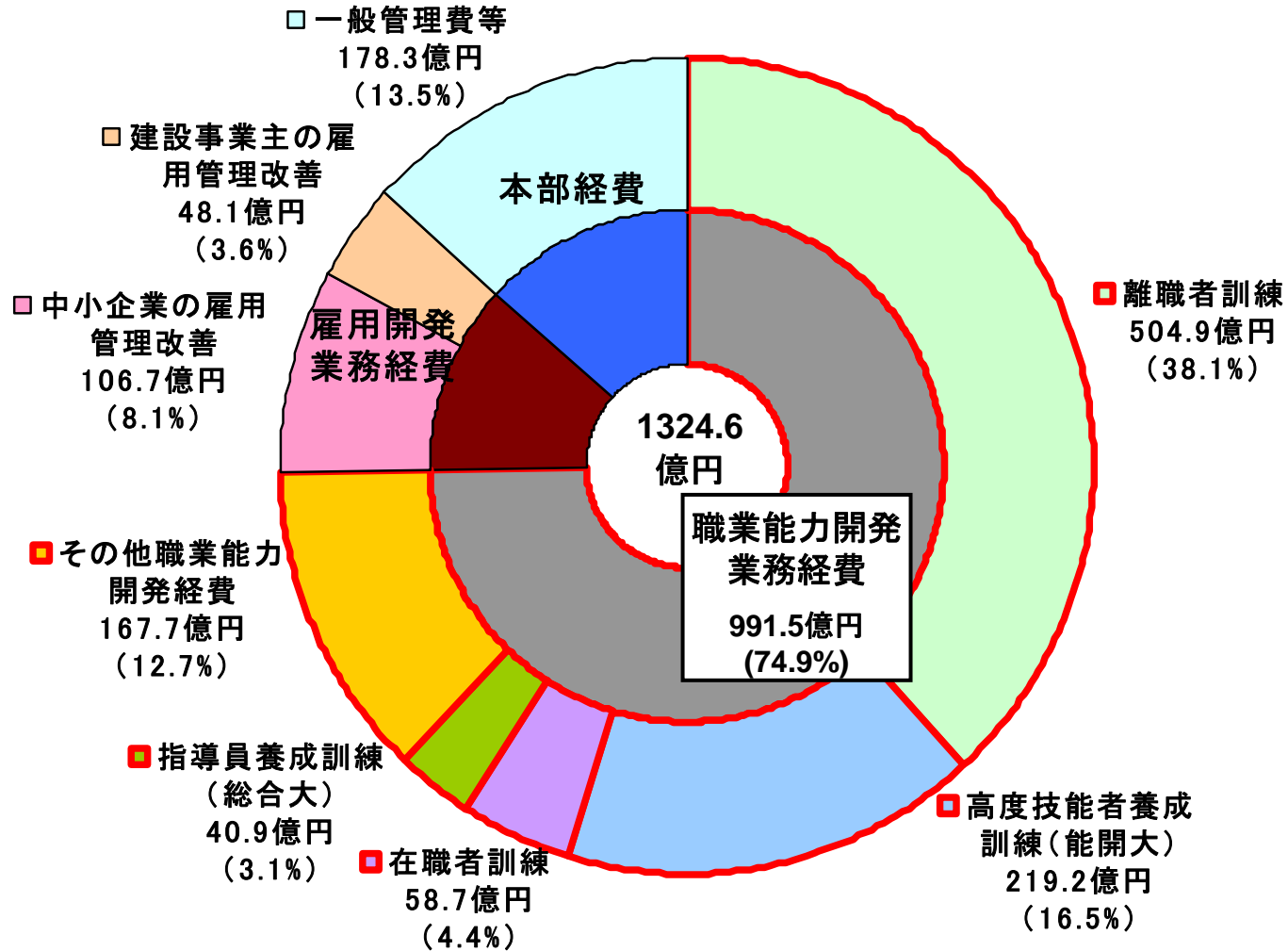


業務経費	766.7億円	795.5億円	772.0億円
人件費	469.6億円	445.4億円	434.6億円
施設整備費	16.5億円	11.6億円	15.7億円
本部経費	120.8億円	109.4億円	102.3億円
合計	1373.6億円	1361.9億円	1324.6億円

平成18年度一般勘定支出額の財源内訳



平成18年度一般勘定支出額における事業別経費内訳

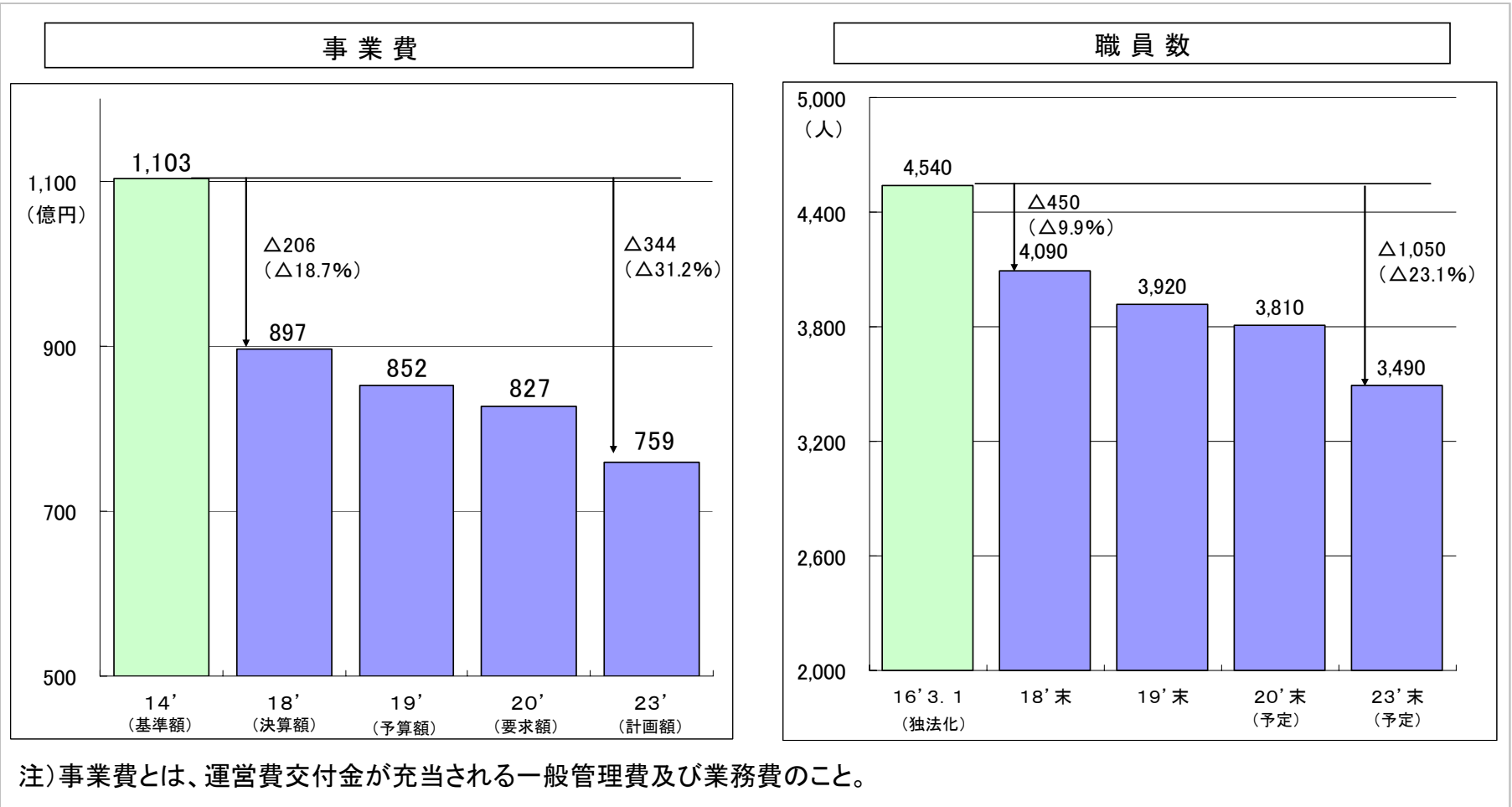


② 職業訓練業務に係る経費(平成18年度実績)

職業訓練の種別		訓練期間	年間 受講者数 (在校生数)	訓練実施経費	訓練生一人当たり経費
離職者訓練			132,538人	504.9億円	381千円
	施設内訓練	標準6ヶ月	32,800人	267.5億円	816千円 (6月(標準)分)
	委託訓練	標準3ヶ月	99,738人	237.4億円	238千円 (3月(標準)分)
在職者訓練		2日～5日	81,910人	58.7億円	72千円 (1コース分)
高度技能者養成訓練		2年	7,236人 (在校生数)	219.2億円	3,029千円 (年額)
指導員訓練	養成訓練	4年	1,014人 (在校生数)	40.9億円	4,036千円 (年額)
	再訓練	5日程度	1,588人	4.3億円	273千円 (1コース分)

③ 定員の削減、経費削減

●事業費及び職員数の推移



◆経費削減状況

第1期中期計画(H16. 3. 1～H19. 3. 31)における経費削減 18.7%削減 △約206億円
 (うち、施設の統廃合(都道府県センターとポリテクセンターの一元化)による経費削減 約10億円)
 (第2期中期計画(H19. 4. 1～H23. 3. 31)においても約138億円の経費削減予定)

④ 財務諸表の概要

平成18事業年度財務諸表の概要

(一般勘定)
(単位：億円)

1 貸借対照表（平成19年3月31日）の概要

資産の部		負債・資本の部	
資産の部		負債の部	
I 流動資産	815	流動負債・固定負債	746
現金及び預金	623	長期借入金	252
貸付金（技能者育成資金貸付金）	75	未払金	167
福祉施設等設置資金貸付金	105	その他負債	325
その他流動資産	12	負債合計	746
II 固定資産	2,732	資本の部	
建物、構築物、土地	2,463	I 資本金	3,025
その他固定資産	268	政府出資金	3,022
資産合計	3,548	地方公共団体出資金	3
		II 資本剰余金	△ 440
		III 利益剰余金	217
		積立金	43
		積立金取崩	4
		当期純利益	168
		資本合計	2,802
資産合計	3,548	負債・資本合計	3,548

2 損益計算書（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の概要

(単位：億円)

費用の部		収益の部	
業務費・一般管理費	1,199	業務収益	53
財務費用等	18	運営費交付金収益	957
費用合計	1,218	補助金等収益	354
		その他収益	19
当期純利益	168	収益合計	1,386
合計	1,386	合計	1,386